

ウ エ ル ビ ー イ ン グ

Well-being

ご存じですか?



「Well-being(ウェル ビーイング)」ってご存じですか?

ここでは「Well-being(ウェル ビーイング)」について、ご紹介いたします。

○「Well-being(ウェル ビーイング)」とは… 「ウェルビーイング」(well-being)という言葉を目録すると、「幸福」「健康」という意味になります。健康については、1946年に署名された世界保健機関(WHO)憲章の前文で「健康とは、病気ではないとか、弱っていないということではなく、肉体的にも、精神的にも、社会的にも、すべてが満たされた状態にあることをいう。」と定義されています。ウェルビーイングも、同様の意味合いで用いることが多い言葉です。

もともとウェルビーイングは、社会福祉の分野で利用される専門用語だったそうですが、近年ではビジネスの場でも使われるようになってきました。特に働き方改革が社会全体で進む現在、企業内の就業環境や組織の在り方について議論する際に「ウェルビーイング」という概念を意識することも多くなっています。

○注目される背景には… 次の4点が考えられます。

参考:日本最大のHRネットワーク日本の人事部 HPより

◆ 働き方の多様化 ◆

ウェルビーイングが注目されるようになった理由のひとつに、働き方が多様化していることが挙げられます。近年では従来のように、朝出勤して定時まで働き退勤するという画一的な働き方ではなく、個々のライフスタイルに合わせた柔軟な働き方がより重視されるようになってきました。

◆ 働き方の推進 ◆

働き方の多様化にも通じる部分がありますが、国をあげて働き方改革が推進されるようになったことも、ウェルビーイングが注目されるようになったきっかけのひとつです。仕事だけでなく余暇も充実させる「ワークライフバランス」の実現は、今や企業の重要な経営課題となっています。

◆ SDGsでの言及 ◆

「NEWS LETTER No.4」でも「SDGs」をご紹介いたしました。その中にも【目標3 すべての人に健康と福祉を(「GOOD HEALTH AND WELL-BEING」)]があり、ウェルビーイングが注目されていることがわかります。

3 すべての人に健康と福祉を



◆ 人材が定着する環境づくり ◆

日本をはじめとした先進諸国では少子高齢化が進み、労働人口の減少による労働力の不足が重大な問題となっています。一方で企業の求人は全体的に増加しており、人材が減少しているにもかかわらず求人が増え続けている、というアンバランスな状況にあります。このような採用難の時代に人材が定着する環境を整えるためには、従来のように給与と待遇を引き上げるだけではなく、ウェルビーイングを重視した労働環境を意識することが大切です。

★新潟県の生涯学習の情報なら

ラ・ラ・ネット

検索

新潟県立生涯学習推進センター
TEL:025-284-6110

問い合わせはこちら

